

会 議 録

会議の名称	平成23年度 第2回所沢市要保護児童対策地域協議会実務者会議
開催日時	平成23年11月10日(木) 午後1時30分～3時00分
開催場所	所沢市役所604会議室
出席者の氏名	原沢 優美子 (埼玉県所沢児童相談所) 宮口 香織 (防衛医科大学校病院 代理出席) 叶 美枝子 (所沢市民生委員・児童委員連合会) 粕谷 清美 (青少年育成所沢市民会議) 武田 京子 (所沢市幼児教育振興協議会) 三浦 孝治郎 (所沢市立小学校長代表) 木島 敬一 (所沢市立中学校長代表) 山口 勝彦 (所沢市教育委員会学校教育部 代理出席) 牧野 和江 (所沢市教育委員会学校教育部教育センター 代理出席) 森田 昇 (所沢市保健福祉部生活福祉課) 須田 浩美 (所沢市保健福祉部母子保健課) 増田 謙二 (所沢市こども未来部青少年課) 市川 博章 (所沢市こども未来部保育課)
欠席者の氏名	伊勢 浩明 (埼玉県所沢警察署) 田島 貴子 (埼玉県狭山保健所) 小林 治 (所沢市医師会) 巢瀬 賢一 (所沢歯科医師会) 谷口 悟 (所沢人権擁護委員協議会所沢支部) 大谷 節子 (所沢市社会福祉協議会) 伊藤 裕生 (さいたま地方法務局所沢支局) 二上 清次 (所沢市こども未来部こども支援課)
説明者の職・氏名	なし
議 題	1 開会 2 議題 取り扱いケースの支援状況について《非公開》 3 講演会 要保護児童対策地域協議会における初期対応と連携について 4 その他
会議資料	①所沢市要保護児童対策地域協議会 委員名簿 ②講演会レジュメ ③要保護児童進行管理台帳《非公開》
担当部課名	こども支援課：秋葉主幹 菅原主査 竹内主査 奥井主任 事務局：こども未来部 こども支援課 こども相談センター 電話 04-2998-9129

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
<p>竹内主査</p> <p>須田 母子保健課長</p> <p>講師</p> <p>菅原主査</p>	<p>1 開会 事務局が開会 開会后、事務局から、所沢市医師会の原 朋邦委員が委員を辞退して、後任として小林 治委員（欠席）が推薦されたことを報告した。 議事に入る前に、会議の公開について審議し、会議を原則通りに公開とするが、個人情報に関わる内容は非公開とすることが決定された。</p> <p>以下、座長（秋葉主幹：二上こども支援課長の代理）が進行。</p> <p>2 議題 取り扱いケースの支援状況について 当協議会の対象児童は 4 カ月おきに近況をふまえて見直しを行っていることから、要保護児童管理台帳（資料③）に基づき、対象児童の増減等を説明した。支援を終了するケースは、7～10 月における学校等への登校状況等をふまえ、状況が安定したケースなど（12 世帯 15 人）。新規ケースは、未就園 7 人、小学生 4 人、特定妊婦 2 人の 9 世帯 13 人。 終了ケース、新規ケースとも委員の承認を得た。</p> <p>3 講演会 「要保護児童対策地域協議会における初期対応と連携について」 十文字学園女子大学教授の栗原直樹氏を招き、児童虐待防止対策の経緯、要保護児童を支援する関係機関の連携のあり方等について講演を行った。</p> <p>【質疑・応答】 母子保健課では、保護者が精神疾患をもっている世帯との関わりがあるが、どこまで世帯に関わるべきか、仕事の分担で悩むことがある。</p> <p>例えば、親担当と子ども担当が別々であっても良いが、複数の担当者、関係機関が関わる場合は、主担当を決めておくと良い。</p> <p>4 その他 事務局から 11 月 19 日（土）に実施するオレンジリボン街頭キャンペーンについて説明し、委員に参加を呼び掛けた。</p> <p>5 閉会 事務局が閉会</p>